長沼町子ども発達支援センター

くれよん

長沼町南町２丁目３番１号
総合保健福祉センター
りふれ２階
TEL:0123-76-7360
FAX:0123-82-5070

２０２６年２月：２０２６年２

厳しい寒さが続くこの頃。子どもたちは冬の遊びや楽しみを見つけ元気いっぱいな姿に、職員一同元気をもらっています。空気は乾燥し体調を崩しやすい時期です。風邪や感染症に気を付けて過ごしていきましょうね。

さて、今年度も残り２カ月となりました。来年度へ向けた準備もしながら、一日一日を大切に過ごし、残りの日々を楽しみたいと思います。

今月のおたよりでは、私たちが支援中に大切にしているアプローチ方法についてお伝えできたらと思います。

子ども一人一人の気持ちやペースを大切にした関わりとして、支援の中に**「インリアルアプローチ」**を取り入れています。

インリアルの基本理念として①自由な遊びや会話の場面を通じて、子どもの言語やコミュニケーション能力を引き出す②子どもから伝える力、始める力を育てる③大人のかかわりの質を高めるが挙げられています。

子どもの行動や気持ちに寄り添い、子どもの「今」に合わせて関わることを大切にする考え方です。コミュニケーションを援助する言葉かけについてお伝えできたらと思います。

☆ミラリング（行動模倣）

・・・子どもの行動をそのまま真似る　（例：子どもが拍手をしたら大人も拍手をする）

☆モニタリング（音声模倣）

・・・子どもの音声やことばをそのまま真似る　（例：子「あっち！」→親「あっち！」）

☆パラレル・トーク（子どもの行動や気持ちを言語化）

・・・子どもの行動や気持ちを言語化する　（例：無言で遊んでいる子に対して「ブーブーしゅっぱーつ！」と言葉を添える）

☆セルフ・トーク（大人の行動や気持ちを言語化）

・・・大人自身の行動や気持ちを言語化する　（例：おままごとをしながら「お野菜トントン」等）

☆リフレクティング（ことばの修正）

・・・子どものいい誤りを正しく言い直して聞かせる　（例：子「とうころもし！」→「とうもろこしだね」）

☆エキスパンション（ことばの拡充）

・・・子どもの言葉を意味的、文法的に拡充して返す　（例：子「でんしゃ！」→「電車入っているね！」）

☆モデリング（伝達のモデル）

・・・子どもが自分の伝えたいことを表現するための適切な伝達のモデルを示す　（例：公園に行く→「お外暑いね、滑り台だね」等）

このアプローチ方法は特別な場所や時間を設ける必要は無く、日常の中で簡単に取り入れることができます。
ぜひ生活の中に取り入れてみてくださいね♪

参考文献：インリアル・アプローチ事典　著河内清美他

お知らせ

・支援を欠席する場合は、必ずご連絡ください。

・４月以降の支援時間について、変更を希望される場合は気軽に担当までお知らせください。

１月から新しく支援員に加わりました。
横山春菜です。８歳・５歳・１歳の子供がおり、毎日光の速さで過ごしています(笑)
これまで学んできたことを活かして、お子さんのこれからの成長をしっかりお手伝いさせていただきます!よろしくお願いします。

２月の予定

…支援お休みの日

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
１	２	３	４	５	６	７
８	９	１０	１１	１２	１３	１４
１５	１６	１７	１８	１９	２０	２１
２２	２３	２４	２５ 乳幼児健診	２６	２７	２８

３月の予定

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
１	２	３	４	５	６	７
８	９	１０	１１	１２	１３	１４
１５	１６	１７	１８	１９	２０	２１
２２	２３	２４	２５ 乳幼児健診	２６	２７	２８
２９	３０	３１				

※　３月３１日（火）は新年度準備のため支援はお休みします。